

『文化人類学』執筆細則

1. 様式

プリントアウト原稿は1枚800字詰（横書40×20）とします。B5、A4に限ります。感熱紙での提出はご遠慮ください。電子文書は40字×20行で整形して下さい。

2. 構成

論文 題名、日本語要旨、キーワード、目次、本文、注、参考文献、欧文要旨
研究ノート 題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献、欧文要旨
研究展望 題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献、欧文要旨
資料と通信 題名、本文、注、参考文献
書評 編・著者名、書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価を明示

3. 日本語要旨（論文のみ）

400～800字。

4. 欧文要旨（論文、研究ノートおよび研究展望）

論文には欧文要旨（英語、独語、仏語のいずれかで、論文は800語～1,000語、研究ノートおよび研究展望は400～500語）が必要です。著者校閲を原則としますが、念のため欧文要旨は校閲しますので、1行あけで印字し、対応する和訳を必ず付けてください。

5. 英文タイトル

論文、研究ノート、研究展望、資料と通信には英文タイトルをつけてください。

6. キーワード

論文、研究ノート、研究展望には日欧5語程度のキーワードをつけてください、キーワード間は読点ではなくコンマを入れてください。

7. 章立て

章はⅠ、Ⅱ……、節は1、2……とします。数字の後に点をつけません。原稿では章の前後は1行あけ、節の場合は節の前を1行あけてください。

例 □□□□□□□□□□□□□□□□ (1行あけ)

Ⅱ 親族組織と村落

□□□□□□□□□□□□□□□□ (1行あけ)

1 親族組織

8. 文献引用

本文中および注の文中に下記のように入れてください。

[著者名□刊行年：頁数]

同一文献から何度も引用する場合も、ibid、上掲書などとせず、上記方式の表記をくりかえしてください。

9. 注

注は後注とし、本文中の注見だしに通し番号 1) 、 2) 、 …をつけます。なお、印刷では本文と注とではポイントが異なります（論文の場合）が、原稿の段階では一律のポイントで提出してください。

注の書式は以下のようにしてください。

- 1) □□□□、 、 、 、 、 、 、
□□□□□、 、 、 、 、 、 、
2) □□□□□、 、 、 、 、 、 、
□□□□□、 、 、 、 、 、 、

注は、この字を用いて、註を用いないでください。

10. 現地語

現地語はイタリックとします。指定の方法は斜字体で印字されるか、該当語句に下線を引いてください。

11. 図表

図表は執筆者がワープロ、パソコンで作製したものをできるかぎりそのまま使用します。写真およびトレースを必要とする場合実費をご負担いただきます。

図表のタイトルは、図の場合は図の下に、表の場合は表の上につけます。

12. 特殊文字、外字

編集作業の段階で別途入れます。原稿とは別に大きめのサイズで見本をつけていただくと間違いが少なくなります。

13. 参考文献（この参考文献という言葉を用いてください。参考文献、引用文献、文献等は不可。）

参考文献は論文末に一括して作成してください。参考文献とは、本文中または注において引用した文献を指します。

1) 文献の配列は著者姓名のアルファベット順か五十音順とします。

ただし、日本語、外国語の文献がそれぞれかなりの数にのぼる場合は、それぞれ分けて列記した方がわかりやすいと思います。

また、邦訳のみの場合、著者名を原綴をカナ書きの五十音順としてください。

2) 記載は以下のようにします。

なお、外国語の雑誌および単行本はイタリックとするため原稿には斜字体で印字するか、あるいは下線を引いてください。

a) 雑誌論文の場合、著者名（改行）、年号、「論文名」、『誌名』、巻（号）、頁数の順とします。

馬淵 東一

1935 「高砂族の系譜」『民族学研究』1 (1) : 1-16。

Howell, Signe

1985 Fomal Speech Act as one Discourse. *Man* (N.S.) 21(1):79-101.

b) 論文集に掲載されている論文の場合、著者名(改行)、年号、「論題」、『論文集名』、編者名、頁数、出版社の順とします。

蒲生 正男

1949 「奄美の民俗・社会」『日本民俗学体系』12、大間知篤三、岡正雄、桜田勝徳、関敬吾、最上孝敬(編)、pp. 7-21、平凡社。

Mead, Margaret

1955 Implication of Insight-II. In *Childhood in Contemporary Cultures*. Margaret Mead and Martha Wolfenstein (eds.), pp. 449-461. University of Chicago Press.

c) 単行本の場合、著者名(改行)、年号、『書名』、出版社の順とします。

野口 武徳

1972 『沖縄池間島民俗誌』未来社。

Douglas, Mary

1966 *Purity and Danger: An Analysis of Concepts of Pollution and Taboo*. Praeger.

なお、邦訳が出版されている場合は下記のようにします。

Sahlins, Marshall

1985 *Islands of History*. The University of Chicago Press. (『歴史
(1993) の島々』山本真鳥訳、法政大学出版局)

邦訳のみを参照した場合は次のとおりです。

サーリンズ、マーシャル

1993 『歴史の島々』山本真鳥訳、法政大学出版局。